

中部学院の旬の話題をお届けする



中部学院大学報

Chubu Gakuin University & College News

2021
vol. 45

3月20日(土)卒業式(岐阜市・長良川国際会議場)

特集③

コロナ禍のイベントなど

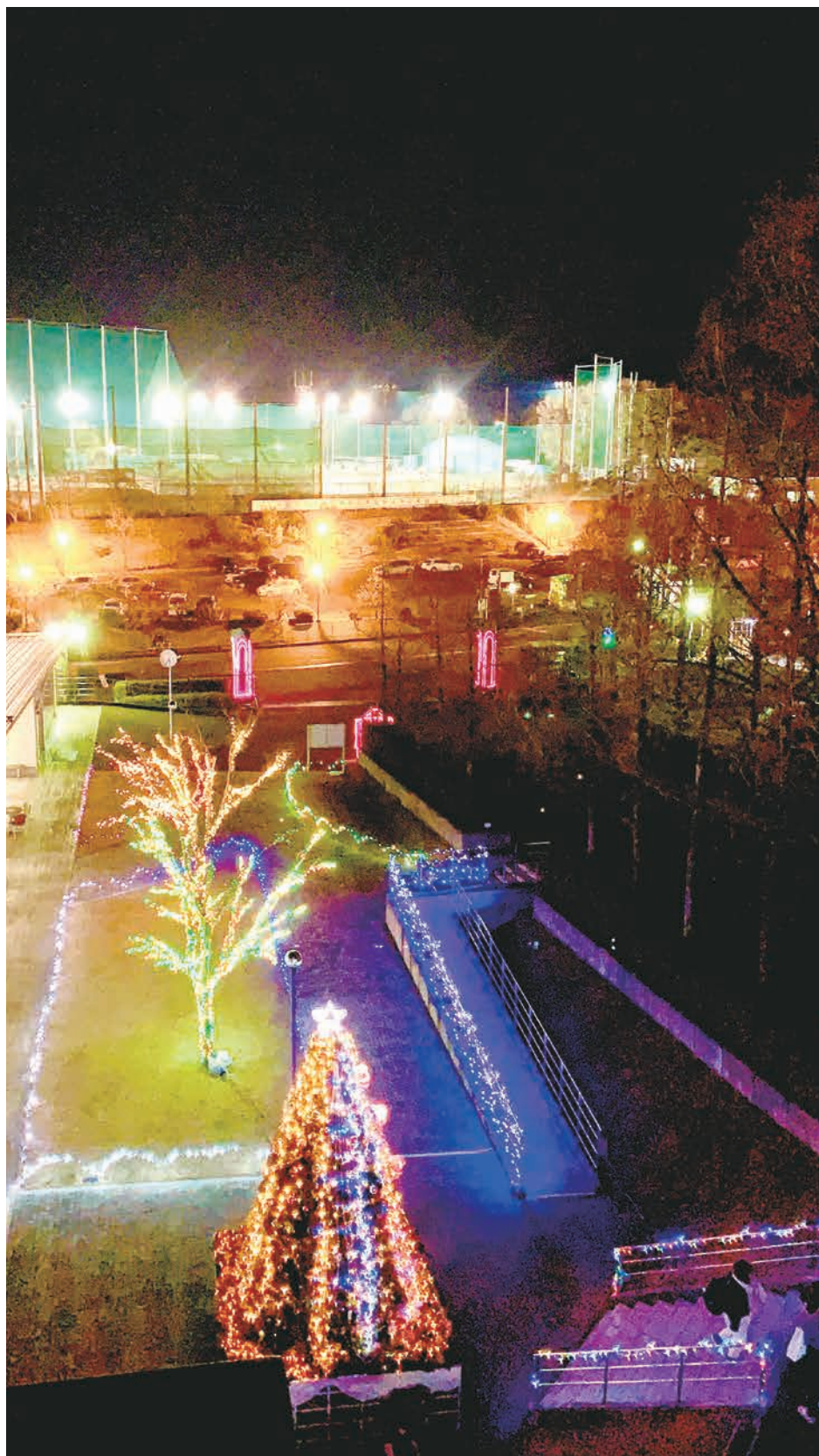
特集②

実を結ぶ地域貢献

特集①

巣立ちの春 卒業生座談会

思い出と共にキャンパスライフを振り返る





表紙/関キャンパスのクリスマスイルミネーション



04 恩師からのメッセージ

特集① 06 巣立ちの春 卒業生座談会

特集② 08 実を結ぶ地域連携

特集③ 10 コロナ禍のイベントなど

12 部・クラブ・サークル紹介

<ピックアップ> ラ・ルーラファクトリー
学長賞、同窓会長賞など受賞者一覧

14 トピックス

教育フォーラム開催、高大連携 ほか

15 講演会

子ども未来セミナー 地域公開講座 ほか

貴重な経験をした世代として

看護リハビリテーション学部長 **大森 正英**

ご卒業おめでとうございます。今年度はコロナ禍に明け暮れた大変な年で、授業、実習をはじめ、あらゆる面で不自由を強いられました。しかし、そのような中で培われた能力もあるはず。困難な状況下で工夫を凝らし、事を成し遂げる力、忍耐力、団結の絆など、皆さんは貴重な経験とその解決法を身につけて世に出ていくことになるのです。「十分に学べなかった世代」ではなく「新たな能力を備えた世代」として大活躍してください。ご健闘を祈ります。



これからが勝負

スポーツ健康科学部長 **鈴木 壮**

卒業おめでとう！これから社会に出ていく卒業生の皆さん、コロナ禍の中で卒業を迎えてどのような気持ちでしょうか。不幸だと考えるか、かえってチャンスだと考えるか、どのように受けとめたとしても、道は自分で切り開いていかねばなりません。“明るく、前向きに”やれるならそれに越したことはないですが、悩み苦しむときもあるはず。それも受け入れながら、自分らしく進んで行ってください。無論、誰の助けも借りないでというのではなく、助けてもらいながら、自分の道を切り開いていってください(自立している人ほど適切な依存ができる人です)。どれが良く、どれが悪いということはありません。誰にでも等しく門戸は開かれています。自分がどうやっていくかだけです。スポーツ健康科学部は第一期の卒業生です。スポーツや身体運動を通じて身につけた“こころとからだ”の力を発揮し、活躍することを期待しています。



専門職としての貢献を

幼児教育学科長 **白幡 久美子**

ご卒業 おめでとうございます。保育者という専門職を目指す2年間の学びは、充実した日々だったことでしょうか。とくに後半の学生生活は、コロナ禍で苦労の連続。これまで以上に、コミュニケーションの大切さを感じた1年間でした。保育に関する理論と実践の能力を十分に身につけた皆さんですから、安心して社会に送り出すことができます。それぞれの職場で、責任ある行動と誠意ある仕事ぶりで貢献し続けてください。幅広い分野でのご活躍を期待しています。



人間福祉の学びを胸に

人間福祉学部長 **飯尾 良英**

ご卒業おめでとうございます。皆さんは、東京オリンピックの熱気の中で、卒業学年を送る予定でした。しかし、予想だにしない新型コロナウイルス感染拡大で、私たちの暮らしは大きく変わってしまいました。この先10年後の社会はさらに大きな変化が予測されます。少子高齢化、デジタル化、脱炭素化、自然共生、多様な働き方、地域再生等々、どんなに社会が変わっても、全ての人々の尊厳と幸福を大切にできる「福祉を身につけた人」として、優しくしなやかに生きて欲しいと願っています。皆さんのご健康とご活躍を祈念しています。



志と確かな知識、心のエネルギーを！

教育学部長 **宮本 正一**

ご卒業御目出度う御座います。皆さんはこれから一人前の社会人として生きていくことになります。現在社会が直面している諸問題は正解が見つけにくいものばかりです。その中で私たちは自分の頭で考え、決断し、行動し、その結果を受け入れ、次に進んでいく。そのためには自らの志と確かな知識、心のエネルギーが必要です。この4年間で培ってきた自分を信じ、学ぶ姿勢を続けながら、新しい環境で精一杯力を発揮して下さい。



チャレンジする心をもって歩もう

社会福祉学科長 **吉川 杉生**

卒業おめでとうございます。社会福祉学科の3コースで学んだ皆さんが、2年間で体験し身につけたことを活かして、これからの可能性を拓いていくことを期待しています。特に皆さんの2年間は、この社会や世界を新しい発想で見直し、これからの「日常」をつくる挑戦を課すものでした。感染症の拡大の中で、社会のしくみの弱さや脆さが明らかになり、大学での学び方も試練に直面しました。皆さんが学んだ実習やインターシップの現場も同様です。決まった対応では乗り越えることが出来ない状況では、人任せにせず、一人ひとりが課題の解決に取り組む意義や価値が高まります。＜新しいチャレンジが誰かの笑顔につながる＞そのような皆さんの活躍を心から祈念しています。



恩師からのメッセージ

運がよいと思うこと

大学学長 **古田 善伯**



卒業おめでとうございます。2020年は新型コロナ感染症を予防するための生活様式が続き、何かと気を使うことが多かったのではないのでしょうか。そのため、皆さんはこのような状況になったことから運の悪い年であったと思うかもしれませんが、人は「運がよい」とか「運が悪い」ということがあります。

今回のように新型コロナ対応の生活様式になったことに対して運が悪いと思う人もいるかもしれませんが、見方を変えて、学生時代に感染症のパンデミックを経験し、その対応策について身をもって学修できたと思えば、運がよかったといえるでしょう。将来、今回のようなパンデミックが発生する可能性があります。その時には皆さんの経験知が大いに役立つものと思います。先人の中で社会的に成功した人は、運がよいと思っている人が多いように見受けられます。皆さんも自分は運がよいと思って、日ごろから努力をし、運を自分に引き寄せてください。

時代の変革を見据えて

副学長 **片桐 史恵**



中部学院大学及び中部学院大学短期大学部を巣立つ日を迎えられる皆さん、ご卒業おめでとうございます。学生として最後の1年間を、新型コロナ感染拡大の状況下で過ごした皆さんには、大きな戸惑いと困惑があったものと思います。学びや研究、課外活動、また社会生活の一変は予期せぬ学生生活をもたらしたことで。その中で、皆さんは新しい学びや研究環境に適応し、成果を挙げ、卒業にあたり学位記が授与されます。

この先行きの見えない状況の中で求められている能力は、答えのない問いに対処する力です。知識と考える力を身につけてきた皆さんに課された使命は、大胆に変革する視点を持ち、新たな未来を拓く好機にすることです。

Looking Beyond COVID-19!

皆さんの大なる飛躍と前進を心より祈念しています。

記念すべきコロナ禍の年に

短期大学部学長 **片桐 多恵子**



2021年の今、コロナは収束するどころか拡大しています。三種の神器のようにアルコール消毒、換気、ソーシャル・ディスタンスを最優先し、感染を恐れてのこの1年は、望んだ学生生活とは程遠い毎日だったことでしょうか。専門分野の知識も技量も、もっともっと身につけてから卒業したい思いにかられていることでしょうか。それは

皆さんだけではありません。その昔、太平洋戦争の時に大学生だった人たちの言葉を思い出します。「勉強どころか、戦争に駆り出されるか軍需工場で働かされた。勉強しないで卒業したから、勉強したい思いが生涯ついて離れない」。この言葉は、人間は満ち足りた時よりも、枯渇している時の方が能動的に成長を求めることを証しています。

長く続くコロナ禍での行動規制がOn Lineによる学習や会議を促進させ、世界が近くなりました。悪いことばかりではありません。暗雲が立ち込めているように見えても、暗雲の向こうには、いつも太陽が輝いています。神の大きな愛の光は常に降り注いでいます。本学のトレードマークは「笑顔と挨拶」です。ご健闘を祈ります。

夢に向かって

副学長 **江馬 諭**



ご卒業おめでとうございます。皆さまは、福祉、教育、理学療法、看護、スポーツ健康科学の各分野で研鑽を積み重ねました。今後は、それぞれの免許、資格、知識と技能を生かして、社会で活躍されることを期待しております。皆さまの今日の努力は明日に繋がります。1年間の努力は次の年に繋がります。一方、自然界の草木は、春になると芽吹き、梅雨とともに大きく茂り、夏の日差しを一杯受け取ります。やがて、紅葉し、実をつけ、落ち葉となります。でも枝先には来年のための小さな芽が準備されています。このように草木は四季の移り変わりに合わせて変化しながら、少しずつ成長していきます。皆さまも自然の移り変わりを感じながら、夢を追い続けてください。



卒業生座談会

特集①

4年間、2年間の大学生活を終え、この春、社会に飛び立つ卒業生の皆さん。大学時代の思い出や就職に向けての抱負、後輩の皆さんへのメッセージを語り合ってもらいました。

卒業生座談会 参加者 (写真手前左から)

教育学部 子ども教育学科
佐藤 和生さん (さとう・かずき) 教員(公立小学校)
短期大学部 幼児教育学科
松久 遥さん (まつひさ・はるか) 保育士(私立保育園)
看護リハビリテーション学部 理学療法学科
今枝 里帆さん (いまえだ・りほ) 理学療法士(病院)

スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科
圓角 有希さん (えんかく・ゆうき) プロテスト目指して練習中
看護リハビリテーション学部 看護学科
山野 七海さん (やまの・ななみ) 看護師(病院)
短期大学部 社会福祉学科
滝下 瑠菜さん (たきした・るな) 介護福祉士(医療福祉系財団法人)
人間福祉学部 人間福祉学科
笠原 基さん (かさらは・もとき) 福祉職(県職員)

実習を通じて「成長を感じる」部活動・勉強・趣味などに挑戦

「大学生活を振り返って、頑張ってきたことや印象に残っていることは。」

今枝 病院での臨床実習に力を入れました。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で、実習期間が予定より短くなり、短期間の中で、短期間の中でも実際に患者さんを目の前にして、自分にできることを精いっぱいやり遂げた経験は「成長している」と思えました。

山野 私も毎日の学習と実習が印象に残っています。実習では幅広い年代やさまざまな疾患を持つ患者さんと関わる中で、疾患について知るだけではなく、患者さん一人一人の背景や価値観を知り、その人らしさを尊重した看護が大切であることを学びました。

滝下 介護福祉士の資格を取得するため、施設実習を頑張りました。コロナ禍で実習期間が短くなったこともあり、利用者の皆さんと関われる時間は当たり前でないこと

を実感しました。利用者さんの笑顔や会話、職員の皆さんの親切な指導で、乗り切れました。

松久 実習とオープンキャンパス(OC)委員を頑張りました。保育実習では一人一人に合う言葉かけや視覚支援の配慮などに努めました。OCでは人の前に立って話すこと、全体の様子を見て動くことなど、一つひとつの経験が、保育士の仕事につながると感じました。

佐藤 勉強と部活動、アルバイトを両立したことです。大学では授業の課題やピアノの実技テスト、教員採用試験対策を頑張りました。部活動の男子バレーボール部の練習が週4日、アルバイトは定食屋、学習塾、放課後児童クラブなどを掛け持ちでやり切りました。

圓角 部活動に励んできました。プロゴルファーのプレーに憧れ、小学1年から始めました。先輩方や同期、後輩からたくさん刺激を受け、切磋琢磨して自分自身を高めることができました。個人では全国大会で優勝することができ、成長した4年

を生かしていきたいです。

今枝 理学療法士として働く上で大切にしたいことは、「向上心を持ち続けること」「常に謙虚な姿勢でいること」。それは多くの患者さんの役に立つことにつながっていくと思います。現状に満足せず、常に学び続け、頼られる理学療法士を目指していきたいです。

滝下 地元に戻り、特別養護老人ホームで働く予定です。利用者の方々は、ご家族や同僚から信頼を得られるよう、心を込めて丁寧な仕事に取り組みたいです。将来はケアマネージャーなどの資格を取得できるよう、常に向上心を持ち頑張りたいです。

自分の得意分野を伸ばしてー仲間と切磋琢磨して夢の実現を

「後輩に向けてのメッセージを。」

圓角 4年間は長いようで短いですが、将来のことを考えることはもちろん大切ですが、いまできることを積極的に取り組むことで将来につながることもあると思います。卒業

間でした。
笠原 やりたかったことに思う存分取り組みるように挑戦してきました。高校卒業後、公務員を経験して大学に入学しましたが、仕事では福祉に関する質問が多く、社会福祉士の資格を取るために励んできました。鉄道についての同人誌も発行できました。

信頼される職業人になりたい 向上心を持ち続けていきたい

「就職に向けての抱負は。」

山野 今まで学習してきた知識と技術を土台にして成長していきたいです。看護師として患者さんに寄り添い、意思や要望に耳を傾け、一緒に考えながら、一人一人に合った看護が提供できるように努めていきたいです。信頼してもらえらる看護師になりたいです。

松久 岐阜市内の保育園で勤務する予定です。保育者として子どもの成長に携わっていきませんが、日々の生活、人との関わり、感謝を大切にしながら、たくさんのご吸収して

いけるように励み、子どもからも保護者からも信頼される温かい保育士を目指したいです。

笠原 児童相談所に勤務する予定です。問題が深刻化して家族に介入しないといけないこともあり、児童に関する報道などを注視しながら、どう対応するのかを考えたいです。保護者ともすぐ相談できるような信頼関係を築き、支援者をサポートしていきたいです。

圓角 小学生の時から夢であるプロゴルファーになるために、延期になっていたプロテストを3月に受験します。ゴルフ部の今後の活躍を期待しながら、自分自身も良い報告ができるように日々の練習に励み、周りから愛されるプロゴルファーになりたいです。

佐藤 この春から教師になります。乗り越えないといけない問題はたくさんあると思いますが、子どもを中心に目を向け、目の前にいる子どもが何を考えているのかを大切にしたいです。子どもの懐に入るのが得意なので、その長所

する時に「やってきて良かった」と思えるように、残りの時間を悔いなく楽しんでほしいです。

松久 将来、保育者として輝くことができるように、自分の得意なことを伸ばす学生生活を過ごしてほしいです。特に短期大学部は2年なので、あつという間に過ぎてしまいます。私の場合は、絵と工作が好きなので、頑張りました。友達ともたくさん遊んでください。

今枝 理学療法士の勉強量はとても多いと思いますが、努力して得た知識や技術は、将来多くの人の助けになります。実習では理学療法士としてあるべき姿を目の当たりにします。1日1日を充実した日となるよう、同じ志を抱く仲間と切磋琢磨しながら頑張ってください。

山野 目の前にある課題や試験を一つひとつ丁寧に克服すると、国家試験の結果にもつながっていくと思います。同時に、リフレッシュする時間も必要です。人とのつながりを大切に、友人とも協力しながら、

目標に向けて乗り越えていくてください。

滝下 一緒に学ぶ仲間がいることは幸せです。自宅学習が増え、仲間の大切さに気づけました。一人で抱え込まず、共有して助け合いながら、前に進んでほしいです。そして何事も自己確認が大切です。期限など予定を把握して、ゆとりある行動に努めるといいと思います。

笠原 大学時代の人間関係や交友関係などは卒業後も続き、将来、思わぬところで助けとなることもあると思います。仲間との時間を大切にしながら、自分自身も「これをやりたい」ということは4年間、2年間にやり切った、いろいろな挑戦してほしいと思います。

佐藤 広い視野を持って生活することで、子どもも保護者もどの方とも柔軟に対応できる力を身につけることができます。座右の銘は「情けは人のためにならない」。他者を大切にすることは自分自身を大切にすることにつながります。大学での出会いを大切にしてください。

岐阜県と災害派遣の協定を締結

災害派遣福祉チーム後方支援 都道府県では全国初

本学の学生や教職員が災害発生時に高齢者や障がい者を支援する「県災害派遣福祉チーム(岐阜 DCAT)」の後方支援にあたるための協定を岐阜県と締結しました。大学と災害派遣福祉チームの後方支援に関する協定を結ぶのは都道府県では初めて。具体的には、県に支援の要請があった避難所や社会福祉施設などに、学生や教職員をボランティアとして派遣します。また、県災害派遣福祉チームを補助し、見守り支援や清掃などに取り組みます。



関市・市社会福祉協議会と協定

災害時ボランティア派遣の円滑化、人材育成

関市・同市社会福祉協議会と、災害時の学生や教職員のボランティア派遣を円滑に進めたり、人材育成を図ったりすることを目的とした「災害時における学生等ボランティア活動に関する協定」を締結しました。専門的な知識や技術を学んでいる学生は、専門職として社会で活躍するために、災害が発生した際の対応を学ぶことが求められ、災害時において避難所や福祉施設での活躍が期待されます。防災に関する研究や教育の支援も進めます。



北方町／羽島市／羽島郡2町と連携協定

教育実習やインターンシップの充実を図る



本県郡北方町、羽島市教育委員会、羽島郡2町教育委員会と、教育実習や学校インターンシップの受け入れ、同町教職員への資質向上研修について、それぞれ連携協定を締結しました。大学の古田善伯学長は「本学では教育実習に参加する学生が増えているので、受け入れをよろしくお願いいたします」と語りました。

関市保健センター／短期大学部幼児教育学科 新しい生活様式での 食育を考える

短期大学部幼児教育学科は関市保健センターと連携し、新しい生活様式の中での食育のあり方について考えてきました。菊池ゼミの学生は3つのグループに分かれ、「栽培活動」「机配置」「給食時間の放送」をテーマに研究を進めました。そのうち、栽培活動では、室内でも栽培しやすい野菜を調べたり、



一人一鉢で育てるかグループごとに育てるかを考察したりしました。発表会では「栽培は食育につながり、野菜嫌いの改善にも期待できるのでは」などと研究成果をまとめ、同市公立保育園主任会で提案しました。

美濃加茂市／短期大学部幼児教育学科 ふるさと愛 地域での子育てを考える

地域連携協定の一環として、2017年度から美濃加茂市と連携活動を展開しています。今年度は同市北部の三和地区や三和小学校と、ふるさと愛や地域での子育てなどについて学んできました。参加したのは幼児教育学科の杉山ゼミの学生。12月にはオンラインで児童と対面し、フラフープを実演したり、しりとりゲームを楽しんだりしました。



郡上市／短期大学部幼児教育学科 親子で一緒に遊べる動画番組を制作

郡上市の情報を発信している「郡上ケーブルテレビ」とタイアップし、幼児教育学科2年生の小椋ゼミと1年生有志の合同メンバーが、親子と一緒に運動遊びができる番組を制作しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、子どもたちが外で運動する機会が減ったことを考慮し、子どもたちに向けて楽しめる番組内容を考えました。



関市「田原みんなのおうち」／短期大学部社会福祉学科 地域の高齢者にお便りや手紙を作成

関市田原地区で毎月1回開かれている「田原みんなのおうち」。民家を活用した地域住民の活動の場で、社会福祉学科も活動に参加し、学びを深めています。土谷ゼミは配食サービスに添えるお便りを作成。高野ゼミは学生一人一人が地域の高齢者の皆さんに手紙を書き、同市地域包括支援センターの職員と共に一軒ずつ訪問し、直接手渡しました。



関市／短期大学部社会福祉学科 歌って踊れる「オリジナルミュージックDVD」制作

社会福祉学科2年の野村ゼミは、介護施設で過ごしている高齢者や職員が新型コロナウイルス感染症に負けないようにと、歌手やダンスインストラクターの協力の下、オリジナルミュージックDVD「しあわせの魔法」を制作しました。歌に合わせて独自の体操を考案。高齢者の体力低下防止のため、筋力トレーニングを兼ねられるように工夫しました。



めぐみの農業協同組合／短期大学部社会福祉学科 地元の野菜を取材 PR動画を制作

めぐみの農業協同組合(JAめぐみ)との産学連携の一環として、短期大学部社会福祉学科の美・デザインコースと医療事務コースの「IT活用論Ⅱ」で、「地元農家応援プロジェクト」を進めてきました。両コースの16名は農家に伺い、野菜作りへの思いや野菜の魅力などを取材。2~3分ほどの動画にまとめました。活動を通して、学生は伝えることの難しさを感じつつ、コミュニケーション力や表現力を身に付けました。また、地元で栽培されている野菜を知るきっかけにもなりました。農家の方からは「生産者と消費者との距離が縮まる機会になる」という期待の声寄せられました。制作した動画は2~3月、とれっただひろば関店と可児店で放映されています。



関市・関市社会福祉協議会／地域連携推進センター 防災・減災リーダーを養成 防災力を高める

関市、同市社会福祉協議会と「災害時における学生等ボランティア活動に関する協定」を締結し、人材育成を図ることなどに努めています。今年度は三者が連携し、全2回の防災・減災リーダー養成講座を開催。受講した市民30名は住民のリーダーとして、地域の防災力を高め、減災のために日ごろから必要な備えや知識などを学び、理解を深めました。



岐阜県／地域連携推進センター 「若者ガヤガヤ会議」 SDGsについて意見交換

岐阜県は、若者の意見やアイデアを県政に取り入れるために「若者ガヤガヤ会議」を開いていますが、「大学生会議」にスポーツ健康科学部4年の山口真由さんと教育学部4年の上林聖奈さんが参加しました。テーマは、国連の持続可能な開発目標(SDGs)。マイボトルを持参しているといった紹介や、保護者の行事への参加、食料の廃棄を減らす提案をしました。



関市立南ヶ丘小学校／地域連携推進センター 児童がキャンパスを探検 大学を知る機会に――

関市立南ヶ丘小学校3年生24名が関キャンパスを見学しました。同校ではコロナ禍で全ての行事が中止となりましたが、児童から「たのしみん祭で大学を訪れたことはあるけど、よく知らないで知りたい!」「大学生はどんな勉強をしているの?」などの声があり、見学が実現しました。大学探検ツアーを通じて、大学への興味を広げました。



岐阜県介護人材確保対策事業／短期大学部社会福祉学科 高齢者のえがお写真 介護の魅力伝える

社会福祉学科では介護現場の魅力を伝えようと、岐阜県介護人材確保対策事業の補助を受け、「高齢者えがお写真コンテスト」を毎年開催しています。今年度は高齢者施設の職員や高校生など幅広い年代から101点の応募があり、どの写真も生き生きと輝く高齢者の笑顔を捉えていました。そのうち40点をパネルにして、県内数カ所で写真展を開催しました。



ピックアップ コロナ禍の授業

看護リハビリテーション学部 理学療法学科
あしゆび体操 リモートで遠隔指導

看護リハビリテーション学部理学療法学科は、「高齢者の健康の維持向上」をテーマとし、めぐみの農業協同組合と共同研究に取り組んでいます。同学科の西嶋力教授が学生と考案した「あしゆび体操タオル」をもとに、タオルを活用したあしゆび体操の健康指標や効果について研究を行っています。今年度は「遠隔指導による効果」をテーマに活動を展開。学生は自宅からリモートで参加し、デイサービスセンターの利用者の皆さんに遠隔指導を試みました。



人間福祉学部 人間福祉学科
「介護の日」介護現場の職員にメッセージ動画

11月11日は「介護の日」。人間福祉学部人間福祉学科では例年、JR岐阜駅前での広報活動や在宅介護の家庭訪問などを行っていますが、今年度は街頭での活動を控えるかわりに、メッセージ動画を作成しました。新型コロナウイルスの感染が拡大する中、利用者の命と生活を守るために日夜励まれている介護現場の皆さんに、感謝と応援の気持ちを込めました。また、このような状況下においても実習を受け入れて指導していただいていることへの感謝の思いも込めました。

ピックアップ 国際交流

教育学部子ども教育学科
各務原国際協会のイベントを企画 多文化共生を広める

教育学部子ども教育学科は2019年度から各務原国際協会(以下KIA=Kakamigahara International Association)と共に「多文化共生」の学びを深めています。11月に開催された「KIAフェスティバル」では新井ゼミの学生が企画段階から携わり、多文化交流に役買いました。



教育学部子ども教育学科
可児市国際交流協会さつき・かがやき教室と交流

教育学部子ども教育学科の「幼児と表現」では、2年生がNPO法人可児市国際交流協会のさつき・かがやき教室とオンラインで交流しました。子どもの音楽をはじめ、さまざまな文化について、日本在住で外国にルーツのある生徒たちから話を聞きました。



留学生
学外研修で日本の文化や自然を体感

自粛生活が続く中、留学生に岐阜ならではの体験をしてもらおうと、連携先の関市観光協会と長良川鉄道と協同し、関の刃物文化に触れたり、列車に乗って車窓の景色を写真に収めたりしました。撮影した写真などは母国語のSNSにアップされています。



保護者の皆さまへ

2020年10月から11月にかけて行われました2020年度オンライン保護者懇談会において、参加されました皆さまからのアンケート(抜粋)よりご要望等に回答いたします。

- 【ご感想】**
- コロナ感染予防の観点や県外の保護者にとって、今回のオンライン(ZOOM)による懇談会は、顔を見ながら懇談ができ思いが伝わりやすくてとても助かりました。コロナ禍がおさまってもこのような取り組みを続けていただけると有難いです。
 - コロナを心配しながらの大学生活で入学前に親子で思い描いたものとは全く違ったものになってしまいとても残念ですが、そんな中で教職員の方々の工夫や努力にたくさん支えられていると感謝しています。子供には今しかできないことを精一杯体験してほしいです。大好きで入学した中部学院さんで学習面、対人関係いろんなことを学び、立派な社会人になってくれることを願っています。

- 【ご要望】**
- コロナによる休講やオンライン授業・学内実習への切り替えなどを考えると、通常の授業料を徴収するのではなく減額や一部返還があっても良いのではないのでしょうか。(授業料)
 - ▶卒業、資格等習得に必要な授業科目の授業を特別授業(遠隔授業)として実施し、特別授業で補い切れない部分については、補講や特別授業で対応するため減額は計画していません。
 - オンライン授業になり学生一人一人のネット環境の違い、経験不足からの接続や課題提出、資料提供等々のトラブルがあった。学生が不利益を被らない対応を願いたい。(教育充実費・施設整備資金)
 - ▶教育充実費は学内実習・実験機材購入、学内情報インフラ整備、図書購入費、諸資格取得、国試講座等に使用されます。施設整備資金は、校地・校舎の使用料だけでなく、情報ネットワーク、オンラインシステム、ソフトウェアの使用料や維持費に充てられます。

オンライン大学祭「みてみん祭」のスペシャルゲスト
チョコレートプラネット



特集③
NEW コロナ禍イベント

オンラインたのしみん祭

- オンライン企画① 動画公開配信、動画コンテスト
- オンライン企画② 大学生から地域へのメッセージ
- オンライン企画③ 高校生からのメッセージ

オンライン大学祭「みてみん祭」& 「オンラインたのしみん祭」

例年開催している「大学祭&いきいき地域!!たのしみん祭」を今年度はコロナ禍により、オンラインで開催しました。オープニングムービーでは、本学出身のプロ野球選手、広島東洋カープの野間峻祥選手と床田寛樹選手、お笑い芸人のハロー植田さんらが出演しました。オンライン大学祭「みてみん祭」では、スペシャルゲストとして、チョコレートプラネットが登場。学生に向けてのメッセージもありました。オンラインたのしみん祭では、3つの企画を展開。そのうち、「動画公開配信動画コンテスト」は「地域の皆さんと共有したいこと」をテーマに、これまでたのしみん祭に参加した団体や、学内から動画を募集しました。そのほかにも「大学生から地域へのメッセージ」「高校生からのメッセージ」を集い、特製のポスターで表現しました。

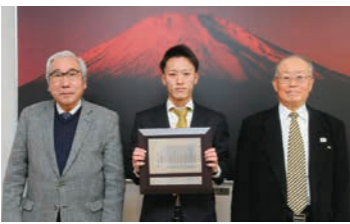
「おうちフェスティバル」開催

毎年11月に各務原キャンパスなどで開催している「学びの森フェスティバル」は今年度中止となりましたが、教育学部子ども教育学科の幼稚園教諭・保育士コース1年(山田ゼミ・水野ゼミ・梅田ゼミ)は、コロナ禍でも楽しめる「おうちフェスティバル」を企画しました。第1弾は「ドライブスルー型遊び広場」。事前に予約のあった親子15組と会話を楽しみました。ラ・ルーラファクトリーは車内から遊べる「魚釣り」、ハンドベルクワイアはハンドベルの生演奏を披露しました。第2弾は「オンラインによる遊びの広場」。オンラインでつなぎ、学生が作成したキットを使って「ぶんぶんゴマ」「万華鏡」などを作り、一緒に遊びながら交流を深めました。



硬式野球部

硬式野球部は、激戦の秋季岐阜県学生リーグを10戦無敗で終え、2季連続16度目の優勝を飾りました。秋季東海選手権では2年ぶりの優勝を果たしました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり、春季リーグは中止。夏場にはコロナのクラスターが発生し、思うように練習ができなかったり、精神的な苦痛を味わったりしましたが、秋季リーグは苦境を乗り越え、持ち前の力強さを発揮しました。なお、東海・北陸・愛知三連盟代表王座決定戦、明治神宮大会は中止でした。また、主将の福尾僚祐外野手(スポーツ④/京都市外大西高校出身)が日本学生野球協会表彰を受けました。



ゴルフ部

卒業生3名がプロゴルファーに

2020PGA資格認定プロテストが11月17日から4日間、福岡県宗像市の玄海ゴルフクラブで行われ、本学ゴルフ部の卒業生3名が合格しました。合格したのは、いずれも経営学部の卒業生で、大内智文さん(2018年度卒/中京高校出身)、三島泰哉さん(2019年度卒/同)、金子優将さん(同/栃木・作新学院高校出身)。本学からプロゴルファーが誕生するのは3年連続で計8名となりました。



部・クラブ・サークル紹介

課外活動などで成果を上げた部・クラブ・サークルを順次紹介します。



みんなで遊び隊の活動

「相手のことを思いながら仲間と一緒に」
ボランティア活動を通じて地域貢献に努める

ラ・ルーラファクトリーは、2011年にボランティアサークルとして発足し、今年で10年目を迎えました。各務原キャンパスにある子ども家庭支援センター「ラ・ルーラ」を活動の拠点とし、県内各地の市町村や各種団体からボランティアの依頼を受けています。

学生が主体となり、自発的な地域貢献活動も展開しています。毎年7月に開催している「夏祭り」もその一つです。「都市部では人と人との繋がり希薄している」という課題に目を向け、「みんなが集える催しを」と企画しました。キャンパス内にポール

にぎわう恒例の行事となり、2011年にボランティアの協力を得ながら、心を込めた手づくりの催しをお届けしています。小学生を対象とした「みんなで遊び隊」も5年前から始めました。運動会や科学遊びをはじめ、遊びラリー、山登り、キャンプなど、さまざまな活動を企画し、年間2〜5回行っています。活動を通じて、学生は児童らと交流を深めたり、一緒に不思議な現象を楽しんだり、表現する楽しさを感じることも、屋外での遊びが減少したり、科学離れが進んだりしている児童の課題解決に向けて取り組んでいます。

近年は、ボランティアに加え、活動の幅も広がってきました。各務原市機能別消防団として、地域活動に積極的に参加しています。また、奉仕と支援を通して、世界の女性の地位向上のために活動する世界的な社会奉仕団体「国際ゾント」の26地区岐阜ゾントからご支援をいただき、「中部学院大学GZクラブ」として活動しています。地域奉仕だけでなく、全国のクラブ員と交流する機会をいただき、世界規模で奉仕している方々の活動に触れ、物の見方や考え方を学んでいます。

これまでの10年を振り返ると、地域の方々、大学関係者の皆さんの協力のおかげで、活動することができました。回を重ねるごとに地域とのつながりも深まり、学生の発案による新たな催しも生まれました。自分たちから発信していく活動が増え、学生は喜びや楽しさを感じ、意欲を高めています。今年度はコロナ禍にあり、ほとんどの活動は行えませんでした。しかし、心掛けてきた「相手のことを思いながら仲間と一緒に」という思いを大切にしながら、また、皆さんと一緒に活動できる日が来ることを心待ちにしています。

「ラ・ルーラファクトリー 顧問 金田環」



学びの森フェスティバルでの活動

2020年度 学長賞 表彰者一覧

【区分】1:成績・人格識見 2:研究 3:課外活動 4:ボランティア 5:その他

大学

氏名・学科・学年	区分	推薦事由
笠原 基 (人間福祉4年)	1,3,4	学業成績優秀で人格識見特に優れ、サークルやボランティア活動等でも活躍し、他の学生の模範となってきた
上田 瑠珠 (子ども教育4年)	1	学業成績優秀で教員採用試験現役合格、オープンキャンパス等にも積極的に参加して活躍した
大岩 亜衣良 (理学療法4年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、部活動でも他学生の模範となる活動をしてきた
内山 理捺 (看護4年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、実直で他学生の模範となる。広報活動等にも積極的に参加してきた
山口 真由 (スポーツ健康科4年)	1	学業成績優秀で何事にも熱心に取り組む真面目な人柄である
中井 雄亮 (スポーツ健康科4年)	3	硬式野球部エースで秋のリーグ戦の最優秀投手賞受賞、16度目の優勝に貢献、学業・練習で下級生の見本となる

短期大学部

氏名・学科・学年	区分	推薦事由
秋吉 利沙 (幼児教育2年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、教員や学生同士の信頼も厚い
小川 菜奈 (社会福祉2年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、授業や国家試験対策では他の学生をリードし模範的役割を果たした

同窓会新評議員の紹介

本年度の卒業生を代表して、同窓会評議員として活躍していただく皆さんです。

- 大学 ●人間福祉学科/河合 美咲 ●子ども教育学科/佐藤 和生 ●理学療法学科/小川 結衣 ●看護学科/渡邊 里桜 ●スポーツ健康科学科/春日 悠輔
- 短期大学部 ●社会福祉学科/松久 奈央 ●幼児教育学科/栢植 ほのか

2020年度 同窓会長賞 表彰者一覧

【区分】1:学生会活動 2:大学の名誉・社会貢献 3:スポーツ・文化 4:その他

大学・短期大学部

氏名・学科・学年	区分	推薦事由
大坪 葵 (看護4年)	4	入学時から助産師になりたい志望があり、臨地実習やゼミ活動で積極的な学習姿勢が際立っていた。学生内ではリーダー的存在として信頼されている
佐藤 和生 (子ども教育4年)	4	学業成績優秀で教員採用試験現役合格、同窓会評議員や大学報インタビューなども快く快話、また、オープンキャンパス等にも積極的に参加した
倉澤 悠斗 (スポーツ健康科4年)	4	学業成績優秀で学科の様々な役割を積極的に引き受け、課外活動や地域ボランティア活動にも熱心に取り組む真面目な人柄で周囲の信頼も厚い
小野木 裕真 (人間福祉3年)	1	GS委員長としてオンライン大学祭開催を検討、新入生や新歓ができない部・サークルに配慮して学生参加型のイベントを計画、下級生をまとめ企画運営に尽力した
ハンドベルクワイア	3	11/3おうちフェスティバル・12/7点灯式・12/12みでみん祭・12/21クリスマス礼拝などコロナ禍でありながら夏以降、積極的に活動を展開した
軟式野球部	3	岐阜県学生軟式野球連盟主催秋季リーグにおいて優勝。コロナ禍の影響により、活動の制限を受ける中、部員が一丸となり、全試合集中力を切らさず困難を克服した

講演会など

各界で活躍する先生を講師に招いて講演会や講義を開催しています。シティカレッジ各務原特別講演会は公開講座として親しまれています。

オンライン地域公開講座

地域連携推進センター

持続可能なまちづくりを考える

地域公開講座を今年2月、関キャンパスで開催しました。今年度はコロナ禍のため、初めてオンラインで行いました。テーマは「SDGs×地方創生×イノベーション-持続可能なまちづくりを考える-」。講師は、地域コーディネーターとして、移住促進やまちづくり、インバウンド事業のプランニングなどを手掛けるKAYAKURA代表の伊藤将人氏。国連が2030年までに達成をめざす「持続可能な開発目標(SDGs)」を踏まえ、まちを元気にするために実践できることを考えました。



子ども未来セミナー

子ども家庭支援センター

「にじの歌を歌いながら」

第15回子ども未来セミナー「新沢としひこ保育講習会」を今年1月、オンラインで開催しました。講師は本学客員教授で、シンガーソングライターとして活躍している新沢としひこ氏。「にじの歌を歌いながら」をテーマに、関キャンパスと新沢さんとをオンラインでつなぎ、全国に発信しました。セミナーでは、新沢さんが、代表曲の「にじ」や「さよならぼくたちの幼稚園」などをピアノやギターで弾き語りしたほか、ヨガソングを通して、コロナ禍のお家時間でも心も体も柔軟でいることの大切さを伝えました。



シティカレッジ各務原特別講演会

シティカレッジ各務原

城郭考古学者 千田嘉博氏が講演

シティカレッジ各務原特別講演会を昨年12月、各務原キャンパスで行い、市民ら約200人が耳を傾けました。講師は城郭考古学者で奈良大学の千田嘉博教授。明智光秀が主人公となったNHK大河ドラマ「麒麟がくる」にちなみ、テーマは「城から見た織田信長と明智光秀」。信長と光秀が建てた城の特徴を解説しながら、両者が思い描いたビジョンの違いを紹介しました。千田氏は「独裁的な支配を考えていた信長に対し、光秀は家臣と共にチームになって国を治めることを考えていた」と語りました。

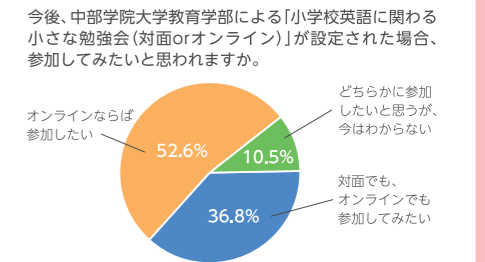
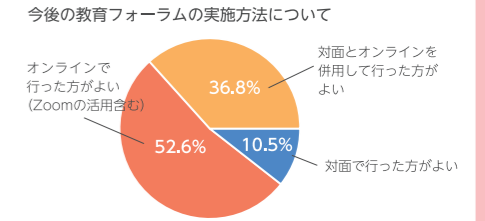


トピックス

各学部学科や部活動では、さまざまな研究発表や課外活動を繰り広げ、積極的に活動しています。

教育フォーラム2020を開催 小学校英語教育について学びを深める

教育学部「教育フォーラム」を2回に分けて、オンラインで開催しました。第1弾は「原点復帰!!小学校英語はここが"きも"」をテーマに、小学校英語教育に定評がある本学学事顧問の久埜百合氏が『聞くこと』と『読むこと』をつなぐ〈やり取り〉と題して講演。埼玉県深谷市の深谷小学校教諭の佐藤明子氏による実践報告もありました。第2弾は「小学校英語の次の一手~これまでを振り返りながら~」と題して、上越教育大学教授で同大学付属小学校長の大場浩正氏、文部科学省教科調査官の山田誠志氏らが話しました。同フォーラムでは英語教育、特に小学校における英語教育について学びを深める機会となりました。



高大連携講座 [済美高校] 学生が後輩にエール [関高校] 家庭クラブ活動で講義

看護リハビリテーション学部看護学科は、連携校である済美高等学校衛生看護科と2019年度から高大連携事業を行っています。講座では、学生と生徒が一緒に模擬講義を受け、シミュレーション教育を体験してきました。その講座をきっかけに入学した1年生4名がコロナ禍でも臨地実習に精を出している後輩にメッセージを寄せました。一方、関高校との高大連携では、同校家庭クラブ活動に短期大学部幼児教育学科の菊池啓子教授(栄養学)が特別講義を行いました。家庭クラブが企画した学習会「食物アレルギーを学ぶ会~豊かな食生活の実現をめざして~」の一環。アレルギーに関する基礎知識などを学びました。



ボーダレスアート研究チーム 障がいのある人とのアートのまじわりを研究

岐阜県障がい者芸術文化支援センターが主催するアートフェスティバル「いろんなみんなの展覧会 種を、まく。」に、教育学部子ども教育学科の水野友有准教授、八桁健講師と有志の学生から成る「ボーダレスアート研究チーム」が、障がいのある人たちとのアートの"まじわり"などをテーマに報告しました。



選書ツアー開催 専門書や絵本などを学生が選ぶ

第6回『学生選書ツアー2020』を岐阜市の大型書店(丸善岐阜)で開催しました。参加した29名の学生は、専門書をはじめ、小説や実習で使う参考書、絵本など、図書館に入れたい本を予算内で選びました。購入後は、本を紹介するPOPデザインを作成し、関、各務原の両キャンパスにある図書館に展示しました。



2021年度 年間行事予定

- 入学式 長良川国際会議場 4/2(金)
- 前期授業開始(※) 4/7(水)
- 開学記念日 5/14(金)
- 後援会総会・保護者懇談会(関各務原) 6/5(土)
- 前期授業終了日(※) 7/30(金)
- 後期授業開始日(※) 9/27(月)
- 大学祭・たのしみ祭・ホーホカミングデー 10/16(土)
- 学びの森フェスティバル(各務原) 11/3(水文化の日)
- 中部手話スピーチコンテスト(各務原) 11/20(土)
- クリスマスツリー点灯式 11/29(月)
- クリスマスマス礼拝・祝会 12/20(月)
- 年内授業終了日 12/27(月)
- 年始通常授業開始日 1/7(金)
- 大学入学共通テスト 1/15(土)・16(日)
- 後期授業終了日(※) 1/28(金)
- 卒業礼拝・卒業式リハーサル 3/18(金)
- 卒業式 長良川国際会議場 3/19(土)

(※) 学科により異なる



中部学院大学 大学院 / 大学 / 短期大学部
Chubu Gakuin University & College



中部学院大学
同短期大学部

[関 キャンパス] 〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL 0575-24-2211
[各務原キャンパス] 〒504-0837 岐阜県各務原市那加甥田町30-1 TEL 058-375-3600

[大 学 院] ◆人間福祉学研究科 修士課程 博士課程(後期)

[大 学] ◆人間福祉学部 人間福祉学科(社会福祉コース/精神保健福祉コース/介護支援コース/地域貢献コース) 通信教育部 ◆教育学部
子ども教育学科(小学校・中学校教諭コース/幼稚園教諭・保育士コース) ◆看護リハビリテーション学部 理学療法学科 看護学科 ◆スポーツ
健康科学部 スポーツ健康科学科(スポーツ健康コース/障がい者スポーツコース/スポーツ経営コース)

[短期大学部] ◆幼児教育学科(乳幼児保育コース/障がい児保育コース/子ども家庭支援コース) ◆社会福祉学科(介護福祉コース/美・デザイン
コース/医療事務コース)